

葉祥明 表紙コレクション

時代の証言となる絵を描いて
いきたい。

「最後に今後の活動について教えてください。
絵画性のある風景画を一つの柱に、
そしてもう一つ、理念絵画といえます
か、人の心の内面を追求・表現した芸
術性の高いもの、この両輪で活動して
いきたいですね。それが「自分たちの
時代の絵画なんだ」という「時代の証言」
になっていければと思います。同時代
の人たちに失われてゆく自然と人の心
を訴えられるような。それがないと現
代の画家としての役割、存在意義がな
いような気がします。風景画では綺麗
だなとか、人が見て楽しめる絵を、理
念絵画では人の心の内面を捉えた時代
の証言となるような絵を描いていき
たいですね。」

今年一月熊本市水道町にオープンしたばかりのYOH'S GALLERY。広々とした店内にはメルヘン画の原画をはじめ、一般にはあまり知られていない油絵やデッサンがずらり展示されている。また葉氏の新作は、すべてここをキーステーションに全国へ発信される予定。近々絵本の主人公がキャラクターグッズとしてお目見えするなど、素敵な話題が満載のギャラリーだ。



YOH'Sギャラリー

メルヘン画の原点を再確認

「一年間『KAZÉ』の表紙を担当された感想は？
十八才の時に上京して以来二十五年、
在京期間の方が長くなったのですが、
この表紙を通して熊本の皆さんと旧交
を温めたって感じがします。僕の絵は
あくまでイメージの世界を描いたもの
です。熊本を離れてからの二十五年間
心の中にずっと持ち続けている熊本の
イメージを純粋な気持ちで抽出するこ
とも、表紙の依頼がなければ実現しな
かったでしょう。おかげで、懐かしく、楽
しく仕事をしながら、僕のメルヘン画
の原点を再確認できました。」

「苦労された点がありましたか？
熊本をどう表現していくか、自分の
心の中のイメージとの葛藤もありまし
た。しかし熊本には海、山、高原、そ
して田園地帯と四季折々の風景がバラ
エティに豊んでいるでしょう。多彩な
自然に恵まれていながら、街としての
要素も兼ね備わっているなあと、描い
ているうちに熊本の良いところの方が
浮かび上がってきました。」

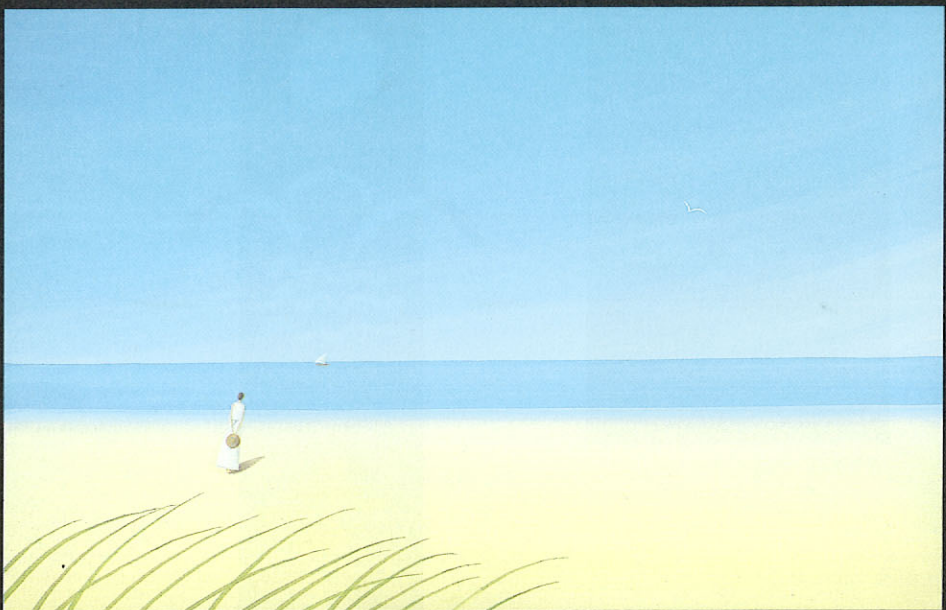
ボローニア国際児童図書展 グラフィック賞受賞

「風とひよこの受賞おめでとうございます。
いやあ、まさに青天の霹靂（きんれい）ですよね
（笑）。ストーリーというストーリーで
はないのですが、一人の少年が自分の
内面からくる「何か」に動かされて砂漠
を横断する。途中のどが渴いて幻覚を
見て倒れたり。いろんな苦勞を重ねな
がら遂に海へたどりつく。といったお
話です。絵本といっても、子ども向け
なのかわかりませんが、少年の、知ら
ない世界への憧れを象徴的にイメージ
で表現しました。」

「それは葉さんご自身の少年時代の心象風景
と重なるところがありますか。
根底にはあると思います。僕は幼い
頃、市内から阿蘇の外輪山を遠くに見
ながら「阿蘇の向こう側には何がある
のだろう。阿蘇を越えて行きたい」と
思っていましたからね。遠くへ行きた
いという憧れの気持ちが強くて、それ
がいろんな形で作品化していると思
います。」



葉祥明プロフィール
一九四六年七月七日、熊本市生まれ。立教大学卒業後、
渡米。アート・ステュディエント・オブ・ニューヨークにて油
彩、デッサンを学ぶ。書空、海、草原など自然をテーマ
にしたメルヘン画を多く手掛ける。同時に、絵本作家
や詩人としても活躍。昨年十一月に発表した創作絵本『風
とひよこ』がイタリア・ボローニア国際児童図書展グラフィ
ック賞を受賞。多方面にその豊かな才能を発揮してい
る。



8月号



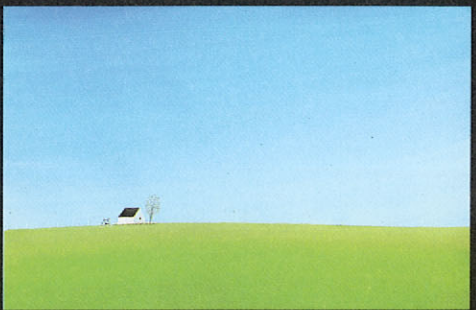
12月号



2月号



4月号



6月号

COVER
collection



10月号